

第3回推進会議以降の各取組ワーキンググループの活動報告

住宅・拠点関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：

1～6, 8～20, 24～26

● 中古住宅の流通促進（取組項目番号14・15関連）

（取組状況）中古住宅の流通促進システムの検討。

（課題）

①旧耐震の中古住宅への適用：近畿不動産活性協議会による「住宅ファイル制度」や、一般社団法人移住・住みかえ支援機構による「マイホーム借り上げ制度」を援用することを想定しているが、これらの制度は、新耐震に対応した住宅に適合するものであるため、旧耐震の物件にも適応可能な制度を検討する必要がある。1月16日に開催したワーキングでは、ニュータウン内の戸建住宅・テラス住宅各1件に対して、中古住宅のインスペクションを実際に実施した結果についての情報共有し、さらに、今回実施する中古住宅流通システムは、新耐震・旧耐震にかかわらずインスペクションを必ず実施することを原則とすることを確認した。旧耐震の物件は、耐震診断を実施し、耐震診断の結果とインスペクションの結果を情報として提供することとした。

②利用者の費用負担：「住宅ファイル制度」については、建物の状況調査や価格調査売り手や買い手に費用負担が発生するため、利用をしてもらえような費用負担の設定について検討が必要である。例えば、旧耐震の住宅については、価格調査を実施せず、建物状況調査のみを実施する選択肢をただし、建物状況調査については、買い手の関心が高い、シロアリ検査や給水・給湯管、排水管、換気ダクト、給排水・電気・ガス設備といった項目を含めて調査とすることが望ましい。

③運営主体の検討：現在は、中古住宅の流通促進について検討する協議会を設立することが想定されている。協議会を設立できたとしても、その運営を担う事務局の体制についての検討ができていない。（今後）

特に、③運営主体の検討について、協議会の運営体制だけでなく、情報発信時における広報資料やHPの掲載資料の作成等の業務を担う主体と費用負担について十分な議論ができていない。他都市における協議会の運営体制について情報収集し、洛西NTでの運営体制について具体的に検討することが喫緊の課題である。また、金融機関との連携可能性について、金融機関へのヒアリングを実施する。

● 住み替え相談（取組項目番号13関連）

（取組状況）住み替え相談窓口の開設場所の検討、相談対応者の検討。

（課題）

①相談体制について：これまでは、「サブセンターの活用による働く場の創出」に関連して、ファイナンシャルプランナーが、会館の一室をシェアオフィスとして利用することを検討していたが、初期の段階から専門家の常駐する相談窓口を開設することは難しいため、例えば、公社を窓口としながら、専門家（ファイナンシャルプランナーを想定）に適宜つなぐという実施体制について議論した。常設窓口が開設できないことの代替策として、専門家による住替え講演と相談会を定期的実施することとした。

②まちづくりとの連携：仲介手数料の一部をまちづくり（健康づくりに関わるサービスを提供）に還元する仕組みや、そのことを包括的にマネジメントする、まち会社のような組織が必要である。

● 景観まちづくり（取組項目番号25関連）

（取組状況）低層住宅地（戸建・テラス）における通り景観の調査。

（課題）戸建景観まちづくりの担い手の発掘、中古住宅売買時における植栽の継承方法の検討

（今後）新しい居住者の交流場として、緑道の清掃活動を実施するなど、担い手の発掘と、利用者がまちの情報を得ることが両立できるような活動を創出する可能性について検討する。

主なメンバー （敬称略）	香水義三（住まいと景観チーム）、吉岡和潔（吉岡不動産鑑定事務所）、万殿慎二（住まいと景観チーム）、安枝英俊（兵庫県立大学）、嶋崎雅嘉（アルパック）、西山亨（独立行政法人都市再生機構）、山根慎吾（京都市住宅供給公社）
今年度まず取り組む取組項目番号	14 住宅ファイル制度・インスペクション制度の推進 15 中古住宅の評価を反映できる金融商品の開発
主な活動	WG会議を 12月8日（金）、第1月16日（金）に開始した。 1月14日（日） 仲介業者とファイナンシャルプランナーに対するヒアリング
今後の予定	住替えに関する講演・相談事業の実施、運営体制の検討、金融機関ヒアリング
これまでの取組	インスペクションの実施、旧耐震住宅への対応の検討

子育て関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：
7, 27～37

現在までに5回のワーキンググループを開催している。

● 木のぬくもりが育てる「洛西子どもはぐくみプロジェクト」(取組項目番号7関連)

(取組状況) 洛西支所1階ロビーに、京都市内産の木材を使用した子育て拠点スペースを設置することで作業を進めており、平成29年9月に公募型プロポーザルにより委託業者を選定した。

委託業者が作成したレイアウト案に対して、地域住民団体や子育て支援団体等から意見をいただくために、平成29年10月16日(月)、17日(火)に第1回ワークショップを、11月2日に第2回ワークショップを開催し、その結果を踏まえて、最終のレイアウトを決定した。

平成30年1月15日(月)から実際の設置作業を開始している。

(課題) スペース設置後の具体的な活用方法(定期的なイベントの開催等)を検討していく必要がある。

(今後) 年度内に完成するよう作業を進めており、オープニングセレモニー等の開催を検討している。

● 洛西ニュータウンにおける病児保育のニーズ調査のためのアンケート実施(取組項目番号28関連)

(取組状況) 病児保育サービスの実施に関する検討を進める上で、病児保育に対する具体的なニーズの把握を行うため、アンケート調査を実施することとし、アンケートの具体的な内容について議論を重ねている。

実施方法は、スマートフォンなどで手軽に回答できるようにインターネットを想定しているが、紙媒体でも並行して実施する予定である。紙媒体のアンケートは、児童館や保育園などに協力いただき、回収ボックスを設置することなどを検討している。

(課題) アンケートの結果をどのように活用していくのか検討が必要。

(今後) アンケートの実施時期は、平成29年度末から平成30年当初を目途に検討中。

● 洛西支所1階ロビーに設置予定の子育て拠点スペースにおけるイベントの開催(取組項目番号29関連)

(取組状況) 洛西支所1階ロビーに設置する子育て拠点スペースにおいて、地域の子育て支援団体等による子育て支援イベントが定期的開催されるような仕組みづくりを検討する。

(課題) イベントの実施主体の掘り起こしや、イベントのスケジュール管理の方法等など、詳細を詰めていく必要がある。

(今後) まずは、子育て支援団体等に試験的に活用してもらい、課題を整理しながら検討を進めていく。

● 洛西ニュータウンに必要な子どものセーフティネットの検討(取組項目番号31関連)

(取組状況) 子ども食堂にとらわれず、洛西ニュータウンの子どもたちにどのような課題があるのか、また、それらの課題に対してどのようなセーフティネットが必要なのかということについて、ワーキング内でワークショップを開催するなど、情報交換及び現状把握を行っている。

(課題) 必要なセーフティネットを具体的に検討することと併せて、実施主体の掘り起こし作業が必要。

(今後) 引き続き、必要なセーフティネットやその内容についての議論を深める。

● ママパパのまちとのつながり支援チームの立上げ(取組項目番号34関連)

(取組状況) 子育て等を機に一時的に離職し孤立しがちなパパやママが、自身が就職時に身に付けたスキルやノウハウを生かして、社会との接点を持ち続けられる機会を創出するための推進組織

「ママパパのまちとのつながり支援チーム（まちつなチーム）」の立上げの取組が、本年度の洛西ニュータウン・地域団体活動ステップアップサポート事業補助金（活動スタートアップ支援枠）の交付対象事業に決定した。

子育て中のママやパパのチラシ作成やデザインのスキルアップを目的として、本年9月21日に、プロのデザイナーを講師に迎えて、「プロから学ぶ！パッと目をひくチラシづくり講座」を開催した。

洛西ニュータウン内の複数の団体や施設に対して、活動において困っている点や手伝ってほしいことなど、まちつなチームへのニーズを把握するためのヒアリング調査を実施している。ヒアリング調査の中から、現在、福祉分野におけるボランティアのニーズ、事業に対するアドバイスなどの必要性などを確認しており、人材とのマッチングに向けた取組を検討する予定。

また、洛西支所で進めている「木のぬくもりプロジェクト」のオープンに向けて必要な作業などについても人材とのマッチングが図れるか検討を進める予定。

(今後)・ ママやパパのスキルを生かして、どのような仕事とのマッチングを図り、まちとつながることができるのかを探るため、地域の団体や企業に対して、ニーズの把握のためのヒアリング調査を継続して実施する予定。

- ・ 2月13日（火）に第2回のスキルアップ講座の開催予定。

● 京都経済短期大学と洛西ニュータウンの小学校との連携による教育プログラムの検討

(取組状況)平成29年7月4日（火）及び12月13日（水）に育みサポーターと京都経済短期大学、洛西支所等で打合せを実施した。来年度以降、まずは各小学校で実施している土曜学習・部活動・放課後学び教室等の課外学習に学生が試験的に参加し、大学と小学校との関係づくりを行いながら、具体的な連携内容を検討していく。

(今後)ニュータウン内の小学校4校に協力依頼をし、連携の可否を含めて相談するとともに、今後の具体的なスケジュールも検討していく。

<p>主なメンバー (敬称略)</p>	<p>によつきつき：大内田 恵美子 ラクセーナ商店会事務局：大島 俊哉 つどいの広場ま〜ぶりんぐ：尾田 真紀 マミーズアップ：坂本 景子 しぶ柿文庫：片山 静江 のはらくらぶ：佐藤 洋子 らくさいスコーレ：玉手 優子 京都市久世保育所：國吉 啓太，田村 優梨子，井尻 千晴，高橋 知里 木の実保育園：黒住 木末 新林児童館：小倉 真由美 福西児童館：高橋 睦巳 京都市境谷児童館：清都 ひさ子 京都市西京区境谷学区民生児童委員協議会：吉川 博美 京都市ユースサービス協会：米原 裕太郎 西京区洛西支所地域力推進室：赤井 明子，平井 淳史，秋山 龍哉 西京区洛西支所子どもはぐくみ室：藤森 紀行，藤井 有紀子 都市計画局都市企画部都市総務課：菱田 栄造</p>
<p>今年度まず取り組む取組項目番号</p>	<p>7 子育て支援情報の発信拠点の設置 28 病児保育サービスの実施についての検討 29 子育て支援団体等と子育てファミリーとのマッチングイベントの開催 31 子どものセーフティネット活動の推進等について 34 「洛西ニュータウンパパ・ママさんデザインチーム（仮称）」の設立</p>

主な活動	<p>第1回ワーキンググループ会議 平成29年8月4日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洛西ニュータウンアクションプログラムについて ・今後検討する議題, 議事の進め方等について <p>第2回ワーキンググループ会議 平成29年9月7日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木のぬくもりが育てる「洛西子どもはぐくみプロジェクト」について ・ママパパのまちとのつながり支援チームについて ・病児保育サービスについて <p>第3回ワーキンググループ会議 平成29年10月19日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木のぬくもりが育てる「洛西子どもはぐくみプロジェクト」について ・ママパパのまちとのつながり支援チームについて ・病児保育サービスについて <p>第4回ワーキンググループ会議 平成29年12月7日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木のぬくもりが育てる「洛西子どもはぐくみプロジェクト」について ・ママパパのまちとのつながり支援チームについて ・病児保育サービスについて <p>第5回ワーキンググループ会議 平成30年1月25日(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木のぬくもりが育てる「洛西子どもはぐくみプロジェクト」について ・高等教育・研究機関と小中学校・高校との連携による教育プログラム提供について ・ママパパのまちとのつながり支援チームについて ・病児保育サービスについて ・子どものセーフティネット活動の推進等について
今後の予定	<p>第6回ワーキンググループ会議を, 平成29年度中に開催予定。</p>
これまでの取組	

これまでワーキンググループを4回開催している。

● 竹林公園内「子どもの広場」の整備素案の作成（取組項目番号57, 60, 64関連）

（取組状況）上記広場の、子どもの楽園（仮称）への再整備に係る素案の作成に当たり、具体的な意見集約を行っていくことを目的として、平成29年12月3日（日）に竹林公園にて、子どもたちを対象とした第2回ワークショップを開催。事務局を含めて62名の参加があり、子どもの広場で実験的にプレイパークを行った後、子どもの広場をより楽しい場所にするために、子どもの広場でやってみたい遊びや、子どもの広場に必要なることを出し合った。現在、事務局にて、ワークショップで得られた意見を元に整備素案を検討している。

（課題）再整備に係る基本的な法的条件などの整理をし、整備素案が実現可能性の高いものとなるよう、更なる検討が必要。

また、整備後の子どもの楽園（仮称）において、継続的にプレイパークが開催されるような仕組みを検討していく必要がある。

（今後）平成30年2月4日（日）に第3回ワークショップを開催予定。福西学区自治連合会や福西小PTAをはじめ、各種団体、教育関係機関等に対し、改めて竹林公園やワークショップの周知を依頼している。また、WGにおける整備に関する議論も踏まえて整備項目や方向性についても素案に盛り込むことを検討する。

● ネイチャーパーク@らくさいの実施（取組項目番号64, 65関連）

（取組状況）平成29年度の洛西支所の事業として、平成29年11月11日（土）に主に小学生や中学生を対象としたプレイパーク「ネイチャーパーク@らくさい」の第1回を開催した。

当日は、地域のNPO法人が竹のジャングルジムや竹のジェットコースターを設置したほか、ボーイスカウトがロープ遊びなどを実施し、子どもたちが自然に触れ、自由に遊ぶ楽しさを体験し、安心してのびのびと遊べる憩いの空間づくりを行った。

また、乳幼児を連れた保護者が来ることも想定し、地域で読み聞かせをしている住民団体による絵本の読み聞かせブースを設置したり、寒い時期なので、地域の障害者就労支援団体に温かい飲み物を提供してもらうなどした。

（課題）住民、地域団体、事業者や行政などが連携・協力して、洛西ニュータウン内の公園で継続的に開催していく仕組みづくりを検討するとともに、本取組を広く周知することにより、ニュータウンの交流人口の増加、定住促進に繋げていく。

（今後）第2回のネイチャーパーク@らくさいを平成30年3月に開催予定。

● 小畑川中央公園等の樹木管理・施設の更新（取組項目番号66, 67関連）

（取組状況）

- 平成29年8月から平成30年3月までの予定で、小畑川中央公園及び南緑地等において、危険な樹木の撤去や樹木の育成環境を整えることを目的として、樹木の密度を適切な状態にするための剪定・支障木等の伐採を行っている。
- 平成29年11月から平成30年1月にかけて、北緑地の老朽化したフェンスを撤去し、新しいフェンスを設置するとともに、大蛇ヶ池公園北西部の階段（パーゴラの上下）に手すりを増設する工事を行った。
- 平成29年11月から平成30年3月までの予定で、小畑川中央公園において、老朽化したベンチ・テーブル等の施設更新工事を行っている。

（課題）樹木管理や施設整備等において、地域住民の意見等を聞きながら推進していく必要がある。

（今後）地域住民や公園愛護協力会等と情報共有しながら、適切に取組を進める。

主なメンバー (敬称略)	洛西ママカフェ：青木 志織 つどいの広場ま～ぶりんぐ：尾田 真紀 しぶ柿文庫：片山 静江 のはらくらぶ：佐藤 洋子 株式会社おもちゃあ：辻 宣幸 洛西フリースペース：中道 秀貴 NPO法人京都発・竹・流域環境ネット：吉田 博次 公園愛護協力会（小畑川中央公園（中））：山本 長司 公園愛護協力会（小畑川中央公園（北））：高橋 進 公園愛護協力会（小畑川中央公園（南東））：福富 修一郎 公園愛護協力会（小畑川中央公園（南）） } : 杉浦 秀好 公園愛護協力会（竹の里公園） } 公園愛護協力会（小畑川中央公園（中央））：鈴木 綾 公園愛護協力会（大蛇ヶ池公園）：岩倉 紘一 公園愛護協力会（新林池公園）：勝本 竹彦 公園愛護協力会（境谷公園）：石橋 廣治 公園愛護協力会（福西公園）：中山 正紀 公園愛護協力会（境谷北ひろば）：前田 照彦 洛西ニュータウン創生推進連絡会小畑川活用検討チーム：高木 幸三 福西児童館：高橋 睦巳 京都市境谷児童館：清都 ひさ子 西京区洛西支所地域力推進室：平井 淳史，山口 覚，秋山 龍哉 都市計画局都市企画部都市総務課：菱田 栄造，藤田 徹 建設局みどり政策推進室：浅井 雅英 建設局北部みどり管理事務所：奥村 和也，奥田 吉彦，山戸 伸治 京都市住宅供給公社洛西事業部：山根 新吾，伊藤 晋 オブザーバー：平井 義昌
今年度まず取り組む取組項目番号	5 7 子どもの楽園（仮称）の再整備 6 0 園内資源の積極的な情報発信 6 4 プレイパークの開催 6 5 魅力イベントの開催 6 6 魅力ある公園再整備 6 7 緑の適切な管理
主な活動	第1回ワーキンググループ会議 平成29年8月29日（火） ・洛西ニュータウンアクションプログラムについて ・竹林公園（子どもの楽園（仮称））の再整備について ・身近な公園（小畑川中央公園等）の整備について 第2回ワーキンググループ会議 平成29年10月3日（火） ・洛西プレイパーク事業について ・竹林公園（子どもの楽園（仮称））の再整備について 第3回ワーキンググループ会議 平成29年11月7日（火） ・ネイチャーパーク@らくさいについて ・竹林公園（子どもの楽園（仮称））の再整備について ・小畑川中央公園等の樹木管理・施設の更新について 第4回ワーキンググループ会議 平成30年1月26日（金） ・ネイチャーパーク@らくさい～境谷公園～について ・竹林公園（子どもの楽園（仮称））の再整備について

今後の予定	第5回のワーキンググループを平成29年度中に開催し、竹林公園の第3回ワークショップの実施結果報告、第2回ネイチャーパーク@らくさいの内容の検討などを行う予定。
これまでの取組	

高齢者・障害者関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：
38～41, 43～46

これまでにワーキンググループを6回開催している。

● 高齢者や障害者の暮らしに関する情報発信（取組項目番号38関連）

（取組状況）デイサービスセンター，障害者支援の事業所や，地域包括支援センター，社会福祉協議会，行政などが個別に情報発信を行っており，取組を推進している。

（課題）情報は質・量ともに豊富にあるので，いくつかの分野では情報の整理ができていますが，情報が必要な人に適切な情報を届けるアプローチの方法や機会の検討が不十分。

（今後）高齢者や障害者が，必要な情報をより入手しやすくするための，情報の整理と広報手段の検討（RCVの活用など）。

● 障害や障害者に関する啓発活動の展開（取組項目番号40関連）

（取組状況）地域の方が集まるイベントなどにおいて，障害者を支援する団体，ボランティアグループなどがパネル展，作品展，チラシ配布などを行い，取組を進めているほか，学校での福祉教育，区総合防災訓練への障害者の参加と啓発を進めている。また，関係者に対しても啓発を目的とした研修を実施している。

（課題）既に取り組んでいる啓発活動をもっと広めていく機会や手段があればいいが，単に回数を増やすだけではなく，内容の充実等の観点からも検討が必要。

（今後）障害や障害者に関する住民の理解が広まるよう，引き続き，効果的な啓発の手法について検討する。

● 障害者を支えるボランティア活動の支援（取組項目番号41関連）

（取組状況）西京区社会福祉協議会が，視覚障害者支援ボランティア養成講座を実施するなどして，ボランティア育成の取組を行っている。また，当事者団体がそれぞれ研修・講座を行っている。

（課題）入門講座への参加者が減少傾向にある。

（今後）障害者支援のボランティアに関心のある人を増やしていく必要があるため，裾野を広げるような取組や計画を検討していく必要がある。

● 認知症の人を支える人材育成（取組項目番号43関連）

（取組状況）西京区認知症地域ケア協議会では，西京区認知症区民公開講座や専門職による研修会等を定期的に開催している。また，西京区認知症ネットワークでは，洛西管内の小・中学校における「認知症あんしんサポーター養成講座（以下「認サポ」という。）」の実施など，地域で認知症の人を支える環境づくりに取り組んでいるほか，地域ケア会議においては，徘徊模擬訓練の実施，西京区での認知症アドバンス講座の実施，認知症の人を発見して，専門機関へとつなぐ仕組みづくり・個別検討などを行っている。

その他，管内の地域包括支援センターが，地域からの要請により，学区自治連合会や学区民生児童委員会，学区社会福祉協議会などに対し認知症の講座を実施している。

（課題）より幅広い層の区民に認知症について知っていただくため，引き続き様々な対象者に対する認知症の講座等を実施していく必要がある。

（今後）引き続き，西京区認知症ケア協議会や西京区認知症ネットワークでの取組を進め，小・中学校や学区の各種団体に対し，認知症に関する講座を開催するとともに，対象者の拡大を図っていく。

＊西京区認知症地域ケア協議会構成団体

西京医師会(事務局)、西京区役所及び洛西支所保健福祉センター、西京警察署、西京消防署、西京区社会福祉協議会、京都市立中学校長会西京支部、西京区自治連合会、西京区民生児童委員会、西京区老人クラブ連合会、京都市地域包括支援センター在宅介護支援センター連絡協議会西京支部、認知症の人と家族の会、虹の会、ますかつとの会、京都市老人福祉施設協議会西京支部、西京区通所介護施設連絡会、介護支援専門員会、西京区地域介護予防推進センター、西京地域訪問看護ステーション連絡会、病院地域連携実務者会、京都府西京薬剤師会、京都市西京歯科医師会、西京コンビ二防犯対策協議会、京都経済短期大学、京都府理学療法士会、京都府作業療法士会

＊西京区認知症ネットワーク構成団体

【コアメンバー】

西京区役所及び洛西支所保健福祉センター（事務局）、
西京区及び洛西管内の地域包括支援センター、西京区社会福祉協議会

【オブザーバー】

西京医師会、京都市西京歯科医師会、京都府西京薬剤師会、西京警察署、西京消防署、
居宅・包括運営会議

● 認知症に関する啓発活動の展開（取組項目番号44関連）

（取組状況）西京区認知症地域ケア協議会が、西京区認知症区民公開講座を開催しているほか、西京区認知症ネットワークでは、平成28年度らくさいさくらまつりや健康ひろば、平成29年度西京区民ふれあいまつりにおいて、認知症に関するブースを開設し、啓発活動に努めてきた。

また、認知症初期集中支援チームでは、認知症初期の方への発見及び対応を行っている。

（課題）引き続き、地域で開催されるイベント等の機会を通じて、より多くの区民に認知症について知っていただく必要がある。

（今後）今後も、西京区認知症ネットワークによる取組を進め、概ね年1回程度、区民対象の大規模イベントにおいて啓発活動を行う予定である。

● キャラバン・メイト（認知症あんしんサポートリーダー）の地域での活動充実につながる支援の検討（取組項目番号45関連）

（取組状況）洛西管内においては、地域からの依頼等により、地域包括支援センターに在籍しているキャラバン・メイトによる認サポを適宜開催しているほか、小学校と連携し、小学生を対象とした講座も開催している。

（課題）地域からの認サポの開催要請が増加していることから、京都市長寿すこやかセンターとも連携し、管内の包括支援センターだけでなく、区内のキャラバン・メイトにも積極的に認サポの開催を担っていただく必要がある。

また、認サポ受講者には、サポーターステップアップ講座をはじめとした福祉研修を受講してもらうなど、認知症や介護に関する知識をさらに高める一歩進んだ意識づくりの機会を設け、さらには、「キャラバン・メイト」要請講座の受講を促し、専門職以外のキャラバン・メイトを増やしていく必要がある。

（今後）西京区認知症ネットワーク、西京区認知症地域ケア協議会などにおいて、地域包括支援センター以外の区内のキャラバン・メイトに対し、洛西ニュータウンや近隣地域で活動する機会を積極的に提供するための取組を検討する。

● 軽度の認知症の人が、洛西ニュータウンや大枝・大原野地域でいきいきと活動できる仕組みづくりの検討（取組項目番号45関連）

（取組状況）

- ・ 地域住民等により、軽度認知症の方が集える「認知症カフェ」の取組みが行われている。
- ・ なんやかんや「大原野」推進協議会の取組で、よもぎやごまなどを栽培しているのですが、軽度認知症等の高齢者が参加できないか、また、障害のある方でも参加できるような作業はないか等の聞き取り調査を行っている。また、来年度初頭を目途にマッチングイベントを実験的に開催し、課題や問題点などを検証していく方向で検討を重ねている。

2月以降のワーキンググループには、実際に大原野でよもぎやごま栽培をされている団体にも出席を依頼することで調整を進めている。

（課題）軽度認知症の方や障害のある方にどのような課題やニーズがあるのか、また、それらが受入れ先のニーズと合致するのか、マッチングするとして、具体的にどのようにしてコーディネートしていくのか等を検討する必要がある。また、トイレの確保、移動手段など、活動を始めるに必要な条件をクリアする必要がある。

（今後）受入れ先の掘り起こしを引き続き進めるとともに、軽度認知症の方などのニーズを関係団体等にヒアリングするなどして情報収集を行う。また、マッチングイベントの開催に向けて、詳細を検討していく。

<p>主なメンバー （敬称略）</p>	<p>京都市西部障害者地域生活支援センター「らくさい」：森口 竜治 京都市沓掛地域包括支援センター：内山 裕之 京都市境谷地域包括支援センター：堀 英彦 NPO法人洛西福祉ネットワーク：齋藤 信男 一般社団法人西京医師会 塚本 忠司，土井 たかし 京都市西京区社会福祉協議会：島田 尚和，小原 滉平 西京区洛西支所保健福祉センター健康福祉部健康長寿推進課：赤木 範子 西京区洛西支所保健福祉センター健康福祉部障害保健福祉課：出口 由美子 西京区洛西支所地域力推進室：平井 淳史，秋山 龍哉 都市計画局都市企画部都市総務課：菱田 栄造</p>
<p>今年度まず取り組む取組項目番号</p>	<p>38 高齢者や障害者の暮らしに関する情報発信 40 啓発活動の展開 41 障害者を支えるボランティア活動の支援 43 認知症の人を支える人材育成 44 認知症に関する啓発活動の展開 45 地域における認知症サポート活動展開の支援検討</p>
<p>主な活動</p>	<p>第1回ワーキンググループ会議 平成29年7月26日（水） ・ 洛西ニュータウンアクションプログラムについて ・ 昨年度の高齢者ワーキンググループの開催状況等について ・ 意見交換 第2回ワーキンググループ会議 平成29年9月13日（水） ・ 各プログラムの進め方について ・ 今後のワーキングの持ち方について 第3回ワーキンググループ会議 平成29年10月12日（木） ・ 前回会議の内容及び進捗状況の確認 ・ 各プログラム項目について意見交換 第4回ワーキンググループ会議 平成29年11月16日（木） ・ 情報共有 ・ 意見交換 第5回ワーキンググループ会議 平成29年12月18日（月）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 ・意見交換 <p>第6回ワーキンググループ会議 平成30年1月15日(月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有 ・意見交換
今後の予定	第7回ワーキンググループを平成30年2月中に開催予定。
これまでの取組	

観光・サブセンター関係ワーキング(観光部会) 活動報告

担当取組項目：
47～56

観光プログラムの構築に向け、サイクリングイベントを実施し、イベント実施を通じて、アクションプログラムに位置付ける複数のプログラムの展開を図った。

● 「らくさいスマートサイクリング」の実施(取組項目番号 51, 52, 53, 54, 55 関連)

(取組状況) エミナース、大枝・大原野の飲食店や寺社等魅力資源、地元で開催されるイベント等と連携したサイクリングイベント「らくさいスマートサイクリング」(H29年11月25日)の実施。走行参加者47名参加。洛西口、エミナースをスタートとする3つのコース(10km前後)及び各スタート地点からコースを定めないサイクルツアー。ルートが決まっているコースについては、京都サイクリング協会による先導有。参加者にはゴール後、ツアーに関するアンケート及び聞き取り調査実施。あわせて、阪急洛西口駅、らくさいマルシェ会場で洛西・大枝・大原野観光に関するアンケートの実施。

(課題) 事業者が主体的に取り組む観光プログラムの構築や周遊コースの開発、観光プログラムの定着等

(今後) サイクリングイベントの成果やサイクリングイベント時に実施したアンケート等を踏まえた観光プログラム構築に向けた検討及び観光マップの作製。

主なメンバー (敬称略)	村下 恒雄 NPO法人 らくさいライフスタイル 吉田 泰基 まちづくりアドバイザー 新治 光子 洛西ケーブルビジョン株式会社 首藤 歩 洛西ケーブルビジョン株式会社 辻 宣幸 株式会社おもちゃあ 小山 良治 株式会社高島屋洛西店 大西 章 ホテル京都エミナース 大島 俊哉 ラクセーナ商店会 永田 賢司 阪急電鉄株式会社 小川 直子 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神 加藤 淳 株式会社エキ・リテール・サービス阪急阪神 西澤 亨 京都市住宅供給公社 山根 新吾 京都市住宅供給公社 赤井 明子 京都市西京区役所洛西支所地域力推進室 秋山 龍哉 京都市西京区役所洛西支所地域力推進室
今年度まず取り組む取組項目番号	51 地域の魅力を発信する観光プログラムの検討 52 洛西口、桂駅等での観光情報発信 53 観光・散策ルートの検討 54 新たな観光プログラムの開発 55 大枝・大原野と連携した周遊コースの開発
主な活動	第1回WG会議 7月3日(月) ○観光プログラムの構築について 第2回WG会議 8月8日(火) 第3回WG会議 9月6日(火) 第4回WG会議 10月4日(水) 第5回WG会議 11月1日(水) ○らくさいスマートサイクリングについて 第6回WG会議 11月15日(水) ○らくさいスマートサイクリングについて ○アクションプログラムに位置付けられている取組について

	<p>らくさいスマートサイクリングの実施 11月25日(土) 第7回WG会議 12月20日(水) ○らくさいスマートサイクリング結果報告</p>
今後の予定	<p>今後の観光プログラム展開の軸となる観光案内等拠点機能の充実について検討し、阪急高架下洛西口～桂駅間プロジェクトと連携しながら、観光プログラムの構築を図る。</p> <p>また、大枝・大原野地域を含めた広域的な観光展開に向け、地域の飲食店や魅力資源、農業関係者等との連携を強めるとともに、らくさいスマートサイクリングに参画した事業者と連携し、具体的な観光コンテンツの開発を図る。</p> <p>例) サイクリングの拠点的機能の確保、レンタサイクルの展開、情報発信のしくみ等</p>
これまでの取組	<p>1 らくさいスマートサイクリング参加者アンケート等結果</p> <p>①参加者層</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別は、女性約60%、男性約40%。 ・年齢は、10代約15%、30代約15%、40代約25%と40代までで約55%。50代17%、60代約15%、70代約13%。 ・居住地は、京都市が約70%、市外で京都府内が約20%、京都府外が約10%。 <p>②参加者からの意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加した感想として「とてもよかった」が約70%、「よかった」が約30%と全員からよい評価がありイベントとしては一定の成果があったと考えられる。 ・具体的には、「金券・温泉券などの特典」が約70%、「洛西地域の風景」が約60%、「立ち寄り先の設定」が約50%、「レンタサイクル」、「運営・スタッフ」、「コース設定」、「マップ」が約40%。 ・洛西地域の再訪意向として、「もう一度来てみたい」が約60%、「機会があれば来たい」が約30%と、再訪意向は高い。 ・洛西地域の観光手段としてサイクリングがふさわしいかについて、「ふさわしいと思う」が約80%。具体的には、「道は狭いが自由に通ることができる」、「よい景色を楽しむことができる」、「交通量が少なく走りやすい」、「適度な距離」等の意見の他、参加コースによって電動自転車を望む意見もあった。 ・シールラリーについて、立寄先でシールを集めることことで達成感をもてとの意見があり、参加者と地域資源をつなぐ有効な手段になると考えられる。 ・観光マップについて、細い道や目印、トイレ等の表示を望む意見があった。 <p>2 来訪者アンケート結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源について、訪問経験がある資源（竹林公園、竹の郷温泉、大原野神社善峯寺）と知られていない資源との差がみられる。 ・洛西地域の観光手段としてサイクリングがふさわしいかについて、「ふさわしいと思う」が約半数、「ふさわしいと思わない」が約20%。

観光・サブセンターワーキング関係(サブセンター部会) 活動報告

担当取組項目：
42, 70, 71

● **各サブセンター・会館の有効活用（取組項目番号70関連）**

(取組状況) 住民アンケート調査の結果を受け、境谷サブセンターで「コンビニエンスストアの誘致」の検討、福西会館で「気軽に運動できる場の開設」に向けた試行実施、「会館の利用促進」を図るため利用料金体系の見直しに取り組んでいる。

(課題) ・コンビニについては、店舗の整備・運営に必要な幹線道路に面した土地の確保
 ・気軽に運動ができる施設については、今後の運営主体や実施場所の検討
 ・会館については、夜間を含めたより利用しやすい環境づくりや、便所をはじめ施設の老朽化への具体的な対策。

(今後) ・コンビニについては、境谷センターにおいて、時間貸し駐車場の上部を活用した出店意向が確認できたことから、地元商店会との調整や関係機関との協議を行ったうえで、公募型プロポーザルで事業者を募集する。

- ・気軽に運動ができる場の開設については、試行実施の結果を、利用者アンケート等によりとりまとめ、本格実施に向けた検討を行う。
- ・会館については、使用規則、料金体系の更なる見直しや便所のバリアフリー化等の施設の改修計画、改修方法を検討する。

● **分譲店舗の有効活用（取組項目番号71関連）**

第3回以降の取組なし

(● **高齢者・障害者の買物実態調査実施の検討（取組項目番号42関連）**は未着手)

<p>主なメンバー (敬称略)</p>	<p>(商店会) 増岡朝治, 山村幸夫, 東憲一, 阿蘇俊夫, 長留省悟, 長谷川督, 齋藤信男, 久保井康二, 竹井竜司 (自治連) 片岡純治, 長瀬純一郎, 今西敏史, 藤本廣志 (大学) 安枝英俊 (行政) 菱田栄造, 片山尚彦, 秋山龍哉 (公社) 西澤亨, 山根新吾, 伊藤晋</p>
<p>今年度まず取り組む取組項目番号</p>	<p>70 各サブセンター会館の有効活用</p>
<p>主な活動</p>	<p>○第1回部会 7月21日(金) ・商店会メンバー, 行政, 公社でサブセン利用意向に関する住民アンケート結果及び商店主に実施した利用実態調査結果を確認。 ・サブセンターごとに特徴があるので, それぞれに活性化の手法を検討する。 ○第2回部会 12月15日(金) ・①会館の利用促進を図るため, 午後と比べて割高に設定していた夜間の利用料金を午後と同額に引き下げ, ②トイレのバリアフリー化に向け改修計画を検討, ③希望の多い気軽に運動できる場の開設について, 福西会館で試行実施を行うこと, ④コンビニエンスストアの誘致について, 境谷サブセンターの駐車場上部を活用することで出店の意向が確認できたことから, 誘致に向けて取り組むことを, 公社から報告し, 意見交換を実施。</p>
<p>今後の予定</p>	

<p>これまでの取組</p>	<p><会館の利用促進></p> <ul style="list-style-type: none"> ○会館運営実態等について、公社が地域団体に委託している運営管理者と意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ・5月11日（木）新林，境谷，5月12日（金）福西の各管理者から意見聴取 ・10月16日（月）新林，10月23日（月）福西の会館運営者と運営方法や改善等について確認 ○サブセンター部会への説明 12月15日（金） <ul style="list-style-type: none"> ・午後に比べて割高に設定していた夜間の利用料金を午後と同額に引き下げる ・なお，他の会議室の半額に設定していた竹の里会館第1会議室の使用料を引き上げ，他の会議室との均衡（見直し後も割安に設定）を図る。 ・平成30年4月1日から利用料金体系を見直すものとし，1月の予約受付時から周知 ・トイレのバリアフリー化に向け，改修計画を検討していく <p><気軽に運動できる場の開設></p> <ul style="list-style-type: none"> ○フィットネス事業者にヒアリング 11月中旬 <ul style="list-style-type: none"> ・中高年齢層の健康増進，認知症予防への需要がある。 ・軽い運動後に友達同士で話しができる場の提供があれば相乗効果があるのではないかな等の意見。 ○サブセンター部会で説明 12月15日（金） <ul style="list-style-type: none"> ・フィットネスクラブの協力を得て，福西会館で試行実施を行う。 ・ストレッチ体操だけでなく，簡単な器具を利用した内容とし，3種類のものを1ヵ月ずつ3ヵ月実施。 ・早ければ2月から開始することとし，自治連合会を通じて，募集チラシで案内。 ○自治連合会（会長等）への説明，チラシ配布依頼 1月11日から15日 <ul style="list-style-type: none"> ・福西会館で試行実施し，実施結果をアンケート調査等によりとりまとめ，本格実施に向けた検討を行う旨説明し，募集チラシの配布を依頼。 <p><コンビニエンスストアの誘致></p> <ul style="list-style-type: none"> ○コンビニ誘致について事業者ヒアリング 8月中旬から <ul style="list-style-type: none"> ・境谷，竹の里地域における誘致に向けて，コンビニ事業者（5社）への意向調査を実施し，出店の可能性について打診。うち，数社から出店可能との回答。 ○サブセンター部会への説明 12月15日（金） <ul style="list-style-type: none"> ・境谷において，コインパーキングの上部を活用することで，コンビニ数社から出店の意向があったことを受け，誘致に向けて作業を進めている。 ・竹の里については，残念ながらサブセンター内に適当な用地がないことから，周辺の土地を活用できないか引く続き検討していく。 ・関係機関と協議し，できるだけ早い時期にコンビニ事業者を公募型プロポーザル方式により募集し，平成30年12月頃のオープンを予定。 ○境谷商店会との意見交換 12月15日（金） <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニ誘致について，商店会としての意見集約を依頼。 ○境谷商店会で意見交換実施 12月26日（火） <ul style="list-style-type: none"> ・商店会として，コンビニ誘致はサブセンター活性化の一部と考える。
----------------	---

＜サブセンター活性化＞

- 新林商店会との意見交換 9月26日(火)
 - ・独立店舗の空き店舗対策, 銀行跡地の有効活用, 会館管理業務の向上等の意見
- 竹の里管理組合との意見交換 10月25日(水)
 - ・会館で福祉サービスの提供, 地元野菜の売り場の提供, 会館利用者も気兼ねなく利用できるコインパーキングの設置等の意見
- 境谷商店会との意見交換 11月16日(木)
 - ・生鮮・日用品が揃う常設店が必要, 独立店舗の区分所有者を組織化し, 施設管理や商店会の活性化を議論する等の意見。
(福西商店会とは, 商店会内での勉強会後に意見交換を予定)
- 4学区地域の自治連合会長に対し住民アンケート結果を説明し, 自治連役員及び自治会長への配布・周知を依頼。
 - ・新林(11月11日連合会開催時に配布)
 - ・境谷(10月27日配布, 11月26日開催)
 - ・竹の里(11月11日連合会開催時に配布)
 - ・福西(10月26日配布, 連合会開催は11月14日, 12月14日)
 - ・今後, サブセン部会又は連合会で意見交換を実施
- 新林サブセン スーパー2階視察 8月28日(月)
 - ・貸館利用していた場所を訪問し, これまでの運用状況や活用等について関係者と意見交換。
 - ・アンケートでのニーズが高い, 気軽に運動ができる施設として, 活用の可能性があることを確認。
- 洛西NT病院と意見交換 9月22日(金)
 - ・医療機関との連携により, 介護予防を兼ねた健康づくりプログラムの活動拠点としてサブセンを活用すること等を意見交換。
- 境谷商店会で意見交換実施 12月26日(火)
 - ・集客の交通インフラの構築, 会館の利用用途の変更や福祉関係に特化したサブセンターへ等の意見

情報発信・エリアマネジメント関係ワーキング 活動報告

担当取組項目：
72～76，推進体制

- ・第1回ワーキングは2月に開催予定である。
- ・情報発信については、本年度は、京都市がPR会社（京都市の戦略的シティPR業務受託事業者）に対する委託により、関西圏メディアを通じて、ニュータウンの魅力情報を発信していく。
- ・また、西京区役所洛西支所においては、昨年度に引き続き、大阪の梅田において洛西ニュータウンへの移住促進のための動画を放映した。
- ・エリアマネジメントに関しては、「洛西地域のエリアマネジメントを考える会」と「観光・サブセンターワーキング（サブセンター部会）」とが協力して、福西サブセンターでの「気軽な運動の場づくり」が試行的に行われる予定であり、サブセンター等を活用して、エリアマネジメント主体を立ち上げていく手法などを検証している。

- **ニュータウンにスポットを当てた、メディアを通じた魅力情報発信（取組項目番号72，73）**
（取組状況）雑誌，WEBの媒体により，ニュータウンに関する魅力情報の発信を予定しており，現在，取材中・記事作成中である。

（課題）メディアの関心を引く，ニュータウン活性化の取組の情報提供

（今後）本年度中の雑誌・WEBへの掲載等によるニュータウンの認知度向上，魅力発信を目指す。

- **洛西ニュータウンへの移住促進のための情報発信（取組項目番号72，73）**

（取組状況）昨年度制作した，洛西ニュータウンの街並みや，地域の子育て活動をまとめた移住促進の動画を阪急梅田ビッグマンで，優しい人たちと豊かな自然をテーマにした移住促進の動画を阪急百貨店前デジタルサイネージにて放映

（課題）多くの人目に触れる情報発信である一方，効果の検証が難しい。

（今後）より効果的な情報発信の方法を検討していく。

- **まちづくり通信の発行（取組項目番号76）**

（取組状況）第6号を平成29年7月，第7号を9月，第8号を12月に発行（※平成28年度から定期的に発行：洛西支所管内の世帯に，市民しんぶんの回覧に合わせて全戸回覧）

（課題）タイムリーな活性化の取組の発掘・発信

（今後）本年度内に，あと1回の計4回発行予定

- **洛西ニュータウン・地域団体活動ステップアップサポート事業（「推進体制②」）**

（取組状況）平成29年6月～7月 募集（募集期間中に3回の事前相談会を実施），

8月 審査会，9月 採択事業決定

申請事業：6事業（申請額 計1，158千円） ⇒ 全事業を採択

（課題）採択事業等の取組進捗に対する効果的な支援

（今後）各団体の取組状況をまとめ，効果的な地域活動のノウハウ等を蓄積し，次年度事業に活かす。

主なメンバー （敬称略）	地域活動団体，地域事業者，行政等（予定）
今年度まず取り組む取組項目番号	72 洛西ニュータウンのイメージづくり・ブランド化戦略の構築 73 ニュータウンへの流入促進につながるPR活動の推進 74 洛西ニュータウンの暮らし・イベント情報等の発信 76 まちづくり通信等によるニュータウン内の情報発信 推進体制① 洛西ニュータウンアクションプログラムの進行管理を行う「推進会議」の設立 推進体制② 洛西ニュータウンアクションプログラムに基づく市民主体の取組を支援する制度の導入
主な活動	—

<p>今後の予定</p>	<p>○「ニュータウンにスポットを当てた、メディアを通じた魅力情報発信」の取組を進めつつ、洛西ニュータウン・地域の魅力情報発信のツール・手法等の現状把握・今後の展開を検討するため、第1回のWG開催に向け調整を進める。</p> <p>○洛西地域のエリアマネジメントを考える会における「洛西ニュータウンと周辺地域におけるエリアマネジメントの推進」のための研究と連携を図り、情報共有のうえ、他のWGの活動との協働を促進する。</p>			
<p>これまでの取組</p>	<p>1 洛西NTアクションプログラム推進会議（推進体制①） 第1回（平成29年5月19日） ・「洛西ニュータウンアクションプログラム」の概要について ・推進体制（推進会議・運営会議・取組ワーキンググループ）及び規約について など 第2回（平成29年8月8日） ・ワーキンググループの実施状況、サポート助成申請状況等について など 第3回（平成29年11月21日） ・ワーキンググループ、その他の取組状況について など 第4回（平成30年2月2日） ・平成29年度の取組状況と30年度の見通し など</p> <p>2 地域団体活動ステップアップサポート事業の創設（推進体制②） 地域主体のまちづくり活動に対する支援の取組として、団体等の活動の成熟度（ステップ）に合わせた活動へのアドバイスや経費の一部を助成するもの 助成対象事業の募集：平成29年6月1日～7月31日 （期間中に事前相談会を3回実施するなど、計7件の相談）</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">{</td> <td style="padding-left: 10px;"> 申請事業・額 6件（1,158千円） <内訳>活動スタートアップ支援枠 3件（242千円） 活動アップグレード支援枠 2件（616千円） 活動融合支援枠 1件（300千円） </td> <td style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> </tr> </table> <p>審査会の開催：平成29年8月22日 ⇒ 全事業を採択 交付決定（広報発表）：平成29年9月20日</p> <p>3 まちづくり通信の発行（取組項目番号76） 第6号（平成29年7月発行）、第7号（9月発行）、第8号（12月発行） → 直近の推進会議の開催状況や、取組ワーキンググループの活動状況のほか、ステップアップサポート事業などのトピックとなる取組の報告・周知</p> <p>4 ニュータウンにスポットを当てた、メディアを通じた魅力情報発信（取組項目番号73） ターゲット：京阪神地域の、特に若年層・子育てファミリー層 手法：関西圏メディアからの情報発信 ⇒ まずは、ニュータウンの認知拡大を図り、ニュータウン以外の地域の方に一度行ってみたいと思ってもらえることをねらいとして実施</p> <p>5 洛西ニュータウンへの移住促進のための情報発信（取組項目番号73） (1) 移住促進CM動画（15秒） 日時：平成29年11月1日（水）～7日（火） <1日20回×7日> 場所：阪急梅田ビッグマン 阪急梅田駅構内イベント広場前 (2) 移住促進コンテンツ（15秒） 日時：平成29年10月23日（月）～11月5日（火） <1日24回×14日> 場所：阪急百貨店うめだ本店北広場 阪急百貨店前デジタルサイネージ</p>	{	申請事業・額 6件（1,158千円） <内訳>活動スタートアップ支援枠 3件（242千円） 活動アップグレード支援枠 2件（616千円） 活動融合支援枠 1件（300千円）	}
{	申請事業・額 6件（1,158千円） <内訳>活動スタートアップ支援枠 3件（242千円） 活動アップグレード支援枠 2件（616千円） 活動融合支援枠 1件（300千円）	}		